

理事会だより

第44号 発行:令和元年10月31日

令和元年度第6回(R元.10.15)理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。

第6回の理事会は、理事9名中9名が、監事2名中2名が、事務局から1名の職員が出席しました。

第6回の議事は、報告3件(事業実績/業務報告/事故報告)、議案2件(正会員の承認/除草請負業務に係る見積基準及び施工等単価に関する規則の改正について)、協議1件(収支状況及び財政見込)でした。

事業実績等について

9月の受注実績(請負・委任・派遣の合計額)は、4,299万8千円でした。前年は3,657万2千円で、前年比117.6%となりました。このうち派遣業務の実績は919万2千円となり、前年は727万8千円で、前年比126.3%でした。会員数は、9月末日現在では、904名(男603名、女301名)となり、前月より2名の減でした。また、職群別の上半期の実績で契約金額の上位5位は、①除草作業59,701千円、②剪定作業45,138千円、③屋外清掃作業20,713千円、④障子・襖張替え15,614千円、⑤屋内清掃作業10,608千円となっています。

事故報告について

令和元年度の上半期に発生した事故の状況ですが、傷害事故が10件(うち2件が派遣の労災事故)、賠償事故が6件、途上事故が1件でした。傷害事故の内容は、転倒、物の落下、剪定や回収作業中のけが、蜂さされなどですが、これらの中には60日程度入院など重度のケースがっております。賠償事故では、6件のうち3件が草刈作業中の飛び石事故で、その他車両に関わる事故が2件、剪定時の物損が1件でした。また、途上事故は、車両接触事故でした。

正会員の承認について

9月7日から10月11日までに受け付けた21名(男10名、女11名)の入会が承認されま

した。

除草請負業務に係る見積基準及び施工等単価に関する規則の改定について

消費税率が令和元年10月1日から8%を10%に引き上げられたことにより、除草請負業務に係る単価表及びトラック燃料代を改定することについて承認されました。

収支状況及び財政見込について

上半期が終わった9月末現在の収支状況は、収入において市補助金の一括交付、大社連絡所移転補償費収入、事務費収入の増等がある関係や支出において職員退職等による人件費の減により、収入が支出を約15,000千円上回っている状況です。昨年度の同月時点では約4,700千円のマイナスとなっていました。

この上半期の状況をベースに今年度の決算見込を推計したところ、4年間続いている赤字決算から脱却できる見通しとなっています。

来年度以降も、現時点での推計では安定的な事業運営ができるような財政見通しとなっていますが、今後も事業収入の増のための会員増対策、安定した補助金収入の確保等、また、経費の縮減にも努めながら、シルバー人材センターの事業運営に支障をきたさないよう、また会員の皆さんが安心して就業できるよう安定した財政基盤づくりに努めてまいりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は8名です。

次回定例理事会：12月17日(火)

(13:30-16:30 センター会議室)

